

1. 事業の位置付け

事務事業名	漁港整備事業		
事業担当	経済部 農水産課		
予算科目	01-060203-010000	事業種類	● ハード ○ ソフト
総合計画の位置付け	04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	01	① <持続可能> 産業の発展を持続させる	
	02	2 産業の経営基盤を強化する	
根拠法令等			
対象・受益者	漁業者	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
漁港区域内の道路や下水道などのインフラを整備することにより、漁業者の利便性が図られ、安全で機能的な漁港が整備されています。		漁業者の利便性の向上を図るため、漁港区域内の道路や下水道などを整備し、また、相模川河口航路を浚渫します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	施設整備数						単位	施設
	説明・算定式	H19：（臨港道路）H20：（河口浚渫）H21：（西防潮堤・陸揚施設設置）							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			1	1	2			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	3箇年の漁港整備進捗率						単位	%
	説明・算定式	H19：（東臨港道路整備工事）25% H20：（西防潮堤・右岸導流堤（改良）工法調査、河口浚渫工事）15% H21：（西防潮堤建設工事）60%							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			25	40	100			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果 東臨港道路を計画どおり5.3m整備できた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	国、県補助事業であり、漁業者の利便性の向上や安全確保のため必要性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> その他	漁業関係者のニーズであり整備の拡充を図り機能的な漁港として有効である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	漁港区域内の道路や下水道などのインフラを整備することにより漁業者の利便性や安全で機能的な漁港が整備され妥当性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	補助事業であり充分精査が行われるため効率性は高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低

今後に向けた課題の分析

整備途上のため、関係部署との調整を行いながら順次整備を行っていく。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				東臨港道路整備	右岸導流堤などの 工事調査、河口浚 渫工事	西防潮堤建設工事 、陸揚施設設置		
財源 内訳	国庫支出金	0	0	15,000	0	35,000	0	0
	県支出金	0	0	7,500	0	17,500	0	0
	起債	0	0	0	0	13,000	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	1,000	0	0
	一般財源	0	0	7,500	10,342	3,500	0	0
事業費 (A)		0	0	30,000	10,342	70,000	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	99.82				
内 訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.82	0.82	0.82	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	6,881	6,881	6,881	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	36,881	17,223	76,881	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 補助事業により計画的に継続して整備を進める。	
平成21年度 of 取組方針	
西防潮堤延長工事及び陸揚施設を設置する。	
課長コメント	漁業者や新港利用者の利便性を図るため、今後ともインフラの整備を継続していく。